

学校法人 こおりやま東都学園



郡山健康科学専門学校
東都国際ビジネス専門学校

学校報

Vol.40

発行 学校法人こおりやま東都学園
編集 郡山健康科学専門学校 広報委員会

〒963-8834
福島県郡山市図景2-9-3
TEL.024-936-7777

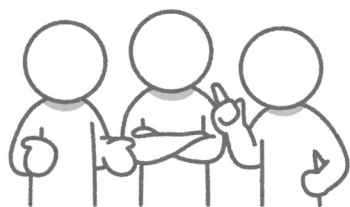
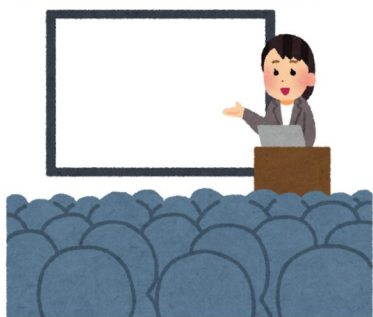
平成31年1月20日発行



チャレンジインターンシップ 活動報告会への参加

平成30年度チャレンジインターンシップ事業報告会が10月28日にビックパレットふくしまにて開催されました。この活動は「ふくしま地域活動団体サポートセンター」様が主催し、夏休み期間中にNPO法人で実施されている活動に1週間から10日間参画し、インターンシップを行うものです。

また前半は各領域に分かれてグループ発表をし、受け入れ団体よりコメントをいただいたり、参加学生同士でのディスカッションを行いました。後半のステージ発表では各グループから代表者が選出され、活動成果が報告されました。本校からは理学療法学科の岩崎琳美さんが選出され、NPO法人「あんだんて」室 恵子様と一緒に関節可動域測定をしたことや、講義では学べない実践で必要な能力について発表しました。参加した学生はそれぞれ、今後の学生生活で必要となる実践的なコミュニケーション技術等を身につけ、より一層頼もしくなりました。



コンテンツ

- 1P：チャレンジインターンシップ
- 2P：ユニバーサルフェスティバル／東都祭
- 3P：東北理学療法学会／日照市衛生学校来校
- 4P：実習を通して

- 5P：認定実技審査／サークル紹介（ボランティア）
- 6P：実習指導者会議／キッズ東都学園保育所だより
- 7P：防災訓練／献血／新入職員紹介
- 8P：学校説明会・入試日程のご案内

ユニバーサルフェスティバルに出展しました！

開成山公園自由広場にて

9月29日（土）郡山市にある開成山公園自由広場で開催された、ユニバーサルフェスティバルにブースを出展いたしました。これは（公社）郡山青年会議所様が中心となり、「障がい者について、より深く理解し、障がいがある人とならない人が、共に生きる社会、すなわち「共生社会」の実現に向けて必要なことは何か？」を改めて見直すことを目的としたイベントです。

本校は「高齢者・障がい者 体験コーナー」を設けました。ここでは、高齢者・障がい者体験キットを身につけながら、普段の生活のシーンにあるお茶出しや、折り紙・積み木といった遊びを体験していただきました。

ブースには多くのご家族連れが来てくださり、保護者もお子さんも一緒に、ちょっとした動きにくさによる生活のしづらさを体験されました。これを機会に、障がい者について、また共生社会について家族で話し合う時間が増えることを期待しています。



東都祭を開催しました！

人と人をつなぐ地域に笑顔のともしびを

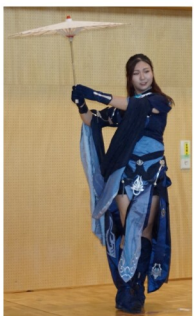
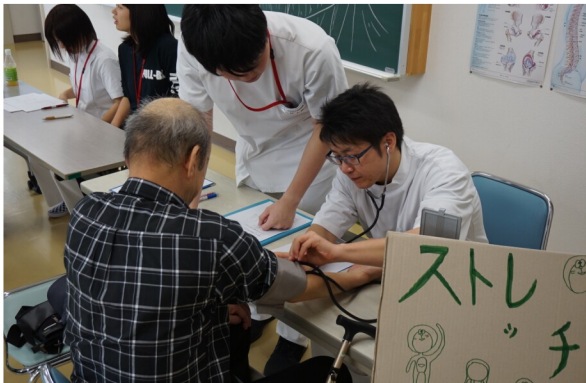
平成30年10月7日（日）に、毎年恒例の東都祭（学園祭）を開催しました。

今年も「人と人をつなぐ地域に笑顔のともしびを」をテーマに、様々な企画が催されました。オープニングでは昨年に引き続き、附属キッズ東都学園保育所の子どもたちが可愛いお遊戯を披露してくれ、更に今年は、前日から短期留学で来校していた日照市衛生学校（中国山東省・本校学術交流協定校）の学生による演舞が華を添えてくれました。

体験型の学業展示では、レクリエーションでハロウィンパーティや段ボール迷路、また、ストレッチやミサンガ作り、ロコモ度テストなど、保育・介護・医療の専門学校ならではの内容となりました。模擬店にはチョコバナナや味噌田楽、焼きそばなど美味しいお店が揃いました。また、CAFÉ Sweet Hot様も出店され、とても賑やかな一日となりました。

他にも郡山次世代ユネスコ協会様が活動報告コーナーを設けたり、本校子ども未来学科長である細川による子育て講座を開いたりしました。

お越しくださった地域の皆様及びご協力くださいましたCAFÉ Sweet Hot様並びに郡山次世代ユネスコ協会様にこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。



第36回東北理学療法学会に参加し、 発表しました！



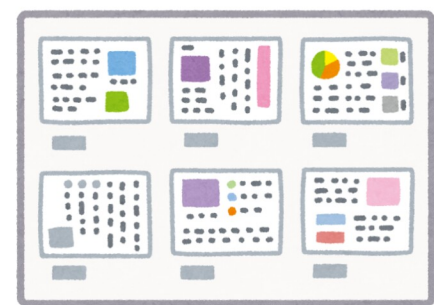
理学療法学科 3年

西田 侑加さん

(福島県立湯本高校出身)

蓬田 匡さん

(福島県立安積黎明高校出身)



専門の先生方が多くいらつしやる中での発表というところで、発表中は大変緊張しました。限られた時間の中で、数か月かけて行なった研究を、その分野に詳しくない人に対し、端的に分かりやすく伝えることが難しかったです。先生方からのご指摘や的確なアドバイスは非常に参考になり、今まで気付かなかった問題点等の新たな側面に気付かされました。発表に至るまでには同じグループメンバーと共に何度も試行錯誤し悩みましたが、学会発表を通して得たものは、就職後にも活きる貴重な経験だと感じています。更に会場では他の先生方の研究発表を聞かせていただき大変勉強にもなりました。学会での発表後には先生方と食事をしました。青森の名産品でもあるホタテや郷土料理のせんべい汁などをいただきましたが、とても美味しかったです。このような貴重な機会そしてご指導をいただきました先生方、誠にありがとうございました。

日照市衛生学校との交流

中国日照市衛生学校留学生

平成30年10月6日〜16日にかけて中国の「日照市衛生学校」の学生7名と先生2名が来校しました。介護福祉学科の講義を本校学生と受講し、「日本の介護はとても優しい」と興味・関心を持ってくれたようです。主に学生同士の交流をメインに催し、今回は東都祭にも参加しました。東都祭では、本国で1ヶ月練習してきた民族舞踊やダンスをステージで披露してくれました。衣装も華やかで本校学生・教職員までも終始見入っていました。

中国では学園祭のような催しはないため、大いに盛り上がりを見せ、学生同士はあつという間に朋友(ホウユウ)に友達に。また、10月13日には「あづま観光果樹園」でぶどう狩り、「四季の里」で昼食、「デコ屋敷」で絵付け体験、神社参拝とバスツアーで巡り、福島県を満喫しました。特に、神社参拝では、来日前から興味を持っていたようで、とても喜んでいました。

およそ10日間の短期間ではありましたが「日本の介護」だけでなく、「日本の文化」も体験できたことが彼らにとっても有意義なものになったようです。またお会いできる日を楽しみにしています！



実習を通して

ご指導いただきました先生・実習施設の皆さま、
ありがとうございました。

こども未来学科



こども未来学科 2年
島木 美香子 さん
(福島県立郡山商業高校出身)

私は、10月に郡山市柴宮保育所で10日間の保育実習を行いました。今回の実習で大変だったことは、3、4、5歳児クラスで一日担任として保育を展開し、年齢に合わせた保育活動や遊びを考え指導計画を立案することでした。また、年齢の違いだけでなく、子ども一人ひとりの成長に合わせて支援の方法や配慮すべきことなど、実際に現場で保育を試してみないと分からないことばかりで、実習の大切さを改めて実感しました。

先生方の姿を見て、私も子どもや保護者に寄り添う素敵な保育士になりたいと思います。



介護福祉学科



介護福祉学科 1年
阿部 寿々奈 さん
(福島県立岩瀬農業高校出身)

はじめての長期実習だったのでとても緊張し不安がっぱいでしたが、実習指導者や職員の方から一つひとつを丁寧に教えていただきとても勉強になりました。実際の現場を見学すると、学校で学ぶ基礎を大切にしながら介護技術やコミュニケーションを実践していました。学校で学ぶ技術や知識が就職してからも重要であることを改めて知りました。これからの学校での学びを含め、次の実習へとつなげていきたいです。



柔道整復学科



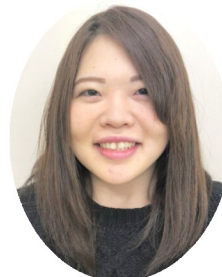
柔道整復学科 2年
星 侃嘉 さん
(福島県立若松商業高校出身)

以前の私は、臨床実習について「患者さまを治療する」という漠然としたイメージしか持っていませんでした。しかし、1年生から2年生にかけて実際にい、自分の考えが甘かった事を痛感しました。治療を行うにも知識が無いため最適な治療法が分からず、これが本当の現場だった場合、全く通用しないと思いました。

次学年に向け、今まで疎かにしていた解剖学や生理学などの基礎を見直し、しっかりと実習の現場でも活躍できるように、これから日々、学んでいきたいと思っています。



作業療法学科



作業療法学科 4年
村田 恵利 さん
(福島県立田村高校出身)

今回の臨床実習は、作業療法士としての考え方を深く学ぶことが出来た実習でした。今までは身体機能面ばかりに視点を置いていましたが、実習指導者からのご指導や患者様との関わりの中で身体面ばかりではなく、その先にあるその人の目的や生活に視点を向けて、想いに寄り添った支援を行うことが作業療法士として大切な事だと気づくことが出来ました。机上では気づくことが出来なかつた知識が深まり、自分自身も成長できた臨床実習でした。



理学療法学科



理学療法学科 4年
鈴木 恭介 さん
(福島県立小名浜高校出身)

私は、千葉県にある亀田メディカルセンターで実習を行いました。そこでは、超急性期の総合病院での実習を主として、回復期病院、老人保健施設、訪問リハビリテーションで多くの経験をさせていただきました。その中で様々な疾患についての理解を深められたと同時に、超急性期から生活期に至る病期での理学療法士の役割を学ぶことができました。

この経験から、臨床の現場で働く際は様々な病期を経験し、どんな場面でも柔軟に対応できる理学療法士になりたいと思いました。

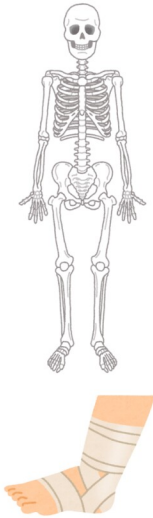


平成30年度柔道整復学科 認定実技審査結果報告

平成30年11月3日(土) 公益財団法人柔道整復研修試験財団から外部審査員2名が来校し、認定実技審査(国家試験実技)が行われました。

これまでの実技審査は、診察・整復・固定の中から1題のみでしたが、今年度より、骨折、脱臼、軟部組織損傷の診察・整復・検査で1題、骨折固定、脱臼固定、軟部組織損傷固定(テーピングも含む)で1題の計2題に増え、整復実技の方は、難易度が上がりました。柔道実技は、これまで同様に、礼法・受身・乱取・投の形が試験内容でした。3年間の集大成を目的として、3月より集中講義を行い、全員合格をめざし取り組みました。

その結果、整復実技、柔道実技共に全員合格することが出来ました。また、下級生をモデル・助手として3ヶ月間しっかり補講を行ったことで、3年生だけでなく、下級生も次年度にむけて非常に良い学習機会になったと思います。このモデル・助手の経験をした学生が、来年度の認定実技試験の中心メンバーとなり、来年度も全員合格をめざし、学科教員全員がサポートして参りたいと思います。



サークル紹介♪ボランティア部♪



私たちボランティアサークルには現在、理学療法学科、作業療法学科、こども未来学科に在籍する様々な学年の学生が所属しております。また今年度から正式にサークルとして認定され、顧問の先生も就任していただき、新体制でのスタートとなりました。

現在、主として行なっている活動は「遊びの会」「失語症友の会」「院内勉強会」の3つです。その他にも福島県主催のボランティア活動、福島県理学療法士・作業療法士会が主催する事業や研修会、県内外のイベントや研修会等へ参加させていただいています。

これらの活動に参加することで、行く先々で多くの人々の人生に触れることができ、とても良い経験となっています。これらのボランティアに参加することで得た繋がりや経験が、学生それぞれの夢の実現の一助となってくだされば大変嬉しく思います。

最後に、いつでも私達と一緒に活動してくださる部員や様々なボランティア活動等を募集しています。是非一度お声かけください。よろしく願いいたします。

サークル部員募集中!

こども未来学科 実習指導者会議開催

平成30年10月27日(土)本校において、こども未来学科の実習指導者会議を開催いたしました。

こども未来学科は創設4年目となり、今年で2回目となる実習指導者会議には、お忙しい中、実習でお世話になる9つの保育所と3つの施設及び本校附属キッズ東都学園保育所から、実習指導担当者の皆様が出席してくださいました。

会議では、本学科での実習指導と実習全体の流れを説明し、その後、保育所と施設の分科会で具体的な実習内容や指導方法に対する懇談会を行いました。特に、実習評価と実習内容を照らし合わせながら、実習内容等を具体的に共有することで、養成校と現場が相互に協力しながら実習を行うことについて理解を深めていただけたように思います。

保育現場からは、実習生を受け入れての感想や、受け入れる側の心構え、本校への要望事項など様々な視点から忌憚のないご意見を賜りました。本学科からも、手厚い実習指導を実施している学生の学びの実態や、質の高い保育士養成をめざすべく、学生一人ひとりの個性を大切にされた教育の実践等にも触れて有意義な懇談会となりました。

最後に、ご足労いただきました皆様様に厚く御礼を申し上げます。



2018/10/27



2018/10/27

キッズ東都学園保育所お料理体験

ペップキッズ郡山にて

キッズ東都学園保育所の3歳児がペップキッズ郡山の施設を利用して、所外保育を行いました。夏には、ペップキッチンでお料理体験、秋には、ペップキッズアクティヴで運動遊び体験をしました。今回は、ペップキッチンでのお料理体験についてご紹介したいと思います。



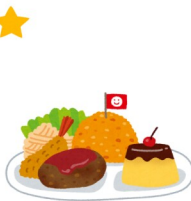
2018/09/27



2018/09/27

『これは何の野菜かな?』『どんなにおいかな?』と聞きながら丁寧にやりとりをしてくださいました。お肉の焼けるにおいを間近で感じ、子ども達からは『いいにおい』『食べた〜い』と声が上ががり、まさに楽しく学ぶ食育指導でした。お母さんの手作りおにぎりと、自分で作った料理は格別でみんな完食しました。

このような体験を通して、また日々の保育の中で、食べ物を大切にすることが育んでいきたいと思います。



防災訓練を実施しました！

平成30年10月30日（火）に全学生、全教職員を対象とした防災訓練を実施しました。今回は、家政実習室での火災を想定し行われ、学生は各教室から指定の避難場所へ避難を行い、その後、消防職員の方の講話を聞きました。また、最後は消火班担当の教職員が、実際に消火器を使用した消火や、放水の訓練を行いました。学生は、ハンカチやマスクを口元に当て、速やかに避難することができ、昨年の訓練時よりも速い7分5秒で全員の避難を安全に完了することが出来ました。また、教職員は救護所の設置班、本部の設置班、避難誘導班、消火班など担当となっている役割を果たし、災害時対応の方法を確認しました。ひと言に『災害』といっても、地震、火災、水害など全国的にみても多くの災害が予測されます。平成23年3月11日に発生した東日本大震災当日、本校は幸いにも卒業式を終え学生が学校にいない状態での被災となりました。もし、講義中や登校直後であれば、対応は大きく変わっていたでしょう。今年度は『火災』の想定での訓練でしたが、過去の被災経験を未来へつなげるために、来年度以降もあらゆる災害、被災場面を想定した防災訓練を実施し、「災害に強い学校づくり」に努めてまいります。

防災訓練



献血に協力しました！



本校では年2回、春と秋に献血活動を行なっています。今年2回目の献血が平成30年11月15日（木）に行われました。

200ミリ献血が8名、400ミリ献血が42名と計50名の方が協力してくれました。他にも諸事情で採血できなかった学生もいましたが、多くの学生が協力してくれました。近年、若年者の献血者数が減少傾向にあるそうです。本校では、医療・福祉従事者を育成する立場から、献血の必要性や献血を行う場の提供など、活動に積極的に協力していきたいと考えております。

次回開催は2019年5月頃を予定しています。皆様のご協力のほど、よろしく願いたします。



新入職員紹介

新入職員が入職しました。皆さまよろしく願いたします。



■事務部
小林 ふゆ子 さん

11月から事務職員として入職しました小林です。学校での勤務は初めてで、まだまだ至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、学生の皆さんがより良い学校生活を送ることができるように全力でサポートしていきたいと思っております。また、笑顔で、気軽に声をかけて頂けると嬉しいですよ。一日も早く学校に慣れ皆さんをサポートできるように頑張ります。どうぞよろしく願いたします。

オープンキャンパス等のご案内

本校では毎月、オープンキャンパスや体験入学等を開催しております。お気軽にご参加ください。

■学校説明会

学校説明▶学科説明▶校舎見学▶就職説明▶入試説明▶進路相談

■体験入学

学校説明▶体験授業▶校舎見学▶入試説明▶進路相談

■オープンキャンパス

全体説明▶OBOG交流▶体験授業/校舎見学▶ランチタイム(学食体験)/進路相談

【2019年】

1/19(土)13:00~15:00	学校説明会	3/2(土)13:00~15:00	学校説明会
2/2(土)13:00~15:00	体験入学	3/30(土)10:00~13:00	オープンキャンパス

これらの日程以外でも、いつでも学校見学・進路相談を受付けております。

部活動やお仕事で忙しい方、あるいは今すぐ話を聞いてみたい方は、お気軽にお電話ください。



入学試験日程のご案内



入試名	出願受付期間	試験日	合格発表日
就学支援型5期 一般3期	平成31年1月9日(水)から 平成31年1月22日(火)まで	平成31年1月26日(土)	平成31年2月1日(金)
指定校推薦2期 就学支援型6期 一般4期	平成31年2月4日(月)から 平成31年2月19日(火)まで	平成31年2月23日(土)	平成31年3月1日(金)
特別選抜(注)	平成31年2月20日(水)から 平成31年3月12日(火)まで	平成31年3月16日(土)	平成31年3月19日(火)

(注) 特別選抜入試は、全学科募集する入試ではありません。最終入試受付締切(平成31年2月19日)後、募集をする学科・選考方法等を決定し、ホームページ等でご案内します。

なお、当入試に限り、定員になり次第、早期に募集を終了します。



〒963-8834 福島県郡山市図景2-9-3
FAX 024-936-7778

URL <http://www.k-tohto.ac.jp>

E-mail info@k-tohto.ac.jp

入学相談室 ☎ 0120-367-102



厚生労働大臣指定 保育士・介護福祉士・柔道整復師・作業療法士・理学療法士 養成校
郡山健康科学専門学校